

平成19年度事業報告

西暦2010年の奈良の都「平城京」の誕生から1300年という節目の年に実施する「平城遷都1300年記念事業」の実施に向けては、平城宮跡の国営公園化等を踏まえ、平成19年7月に「実施方針（案）」を策定し、これに基づき新たな「平城遷都1300年祭 実施基本計画（案）」の策定を進めた。

平成19年度実施事業の主なものは、次のとおりである。

1. 記念事業の推進

(1) 実施方針（案）の策定

- ・第3回理事会において「平城遷都1300年記念事業実施方針（案）」を決定した。

日 時：平成19年7月27日（金）

場 所：奈良県新公会堂（奈良市）

(2) 「平城遷都1300年祭 実施基本計画（案）」の策定

- ・1300年祭の基本的な考え方、事業の構成・規模等を示す「平城遷都1300年祭 実施基本計画（案）」を取りまとめた。

趣 旨：平城遷都1300年を機に、日本の歴史・文化が連綿と続いたことを“祝い、感謝する”とともに、“日本のはじまり 奈良”を素材に、過去・現在・未来の日本を“考える”

会 期：西暦2010年 1月1日から12月31日

会 場：平城宮跡（主会場）、奈良県内、関西等の各地

構 成：1. 平城宮跡事業 2. 県内各地事業 3. 関連広域事業 4. 事前展開事業

参加者見込み：平城宮跡事業 約 200 ～ 250万人 程度

記念イベント全体 約1,200～1,300万人 程度

- ・実施基本計画（案）に対する意見・提案を県民・国民から募集した。

募集期間：平成20年2月12日（火）～同年3月12日（水）

提出件数：218件（うち団体18件）

(3) 国等との調整

- ・平城遷都1300年祭の国家的・国民的事業としての推進を図るため、議員連盟をはじめとする各種会合に出席し、事業内容の説明、要望等を行った。

①自由民主党の国会議員で構成する「平城遷都1300年記念事業推進議員連盟」総会

日 時：平成19年11月7日（水）

場 所：自由民主党本部（東京都千代田区）

内容等：平城遷都1300年記念事業を国家的・国民的プロジェクトとして位置づけ、事業への積極的な参画、全面的な協力・支援を行うこと、特別史跡平城宮跡等を国営公園として整備に着手することなどを盛り込んだ決議が採択された。

（決議書は内閣総理大臣、内閣官房長官、関係大臣及び自民党4役に届けられた。）

②「平城遷都1300年を記念する事業に関する関係省庁連絡会議」

日 時：平成20年2月15日（金）

場 所：内閣府本府

内容等：平城遷都1300年を記念する事業の意義にかんがみ、記念事業に対する支援について、今後、関係省庁が連携し相互の緊密な連絡調整を図ることとなった。

- ③ 奈良県議会議員で構成する「平城遷都1300年記念事業推進議員連盟」総会
日 時：平成20年3月24日（月）
場 所：奈良県議会棟
内容等：平城遷都1300年祭が国家的プロジェクトとして展開されるよう、各省庁が平城遷都1300年祭への事業参加、協力・支援を図ること、「国営飛鳥・平城宮跡歴史公園（仮称）」平城宮跡区域（仮称）の整備促進を図ることなどを盛り込んだ要望書が採択された。
- ・その他国、自治体、関係団体・機関、企業など多方面に、参画、協力の働きかけを行った。

2. 平城宮跡事業

- (1) 会場計画の策定に向けた検討
- ・会場計画の策定に向け、平城宮跡内の文化財や景観を損なうことのないよう、文化庁との協議を実施し、検討を進めた。
 - ・文化財保護法に基づく平城宮跡の現状変更許可申請等に向けて準備作業を進めた。
- (2) 展示、催事事業の計画の検討
- ・「実施方針（案）」に基づき、「平城遷都1300年祭 実施基本計画（案）」の策定に向け、展示、催事の事業内容について検討を行った。
- (3) 会場運営に関する事業
- ・新たな会場計画に基づき、会場運営に関する基本計画の見直しを行った。
 - ・関係機関や企業と連携して、携帯電話・端末を活用した各種情報提供システムの導入について検討を行った。
- (4) 来場者輸送計画の検討
- ・鉄道や自家用車での来場者を円滑に誘導するための方策や必要な交通施設についての調査、検討を進めた。
 - ・県、奈良市と連携しながら、近鉄大和西大寺駅からのアクセスについての検討を進めた。
 - ・シャトルバス等の運行について、バス事業者との協議を進めた。

3. 県内各地事業(県内・広域ネットワーク事業)

- (1) 市町村との連携
- ・市町村との連携の推進に向け、「市町村事業企画推進会議」を開催した。
開催日：平成20年3月21日（金）
場 所：奈良県市町村会館（橿原市）
内 容：市町村事業の推進に向けた情報や意見の交換
出席者：協会事業部、県（企画部観光交流局交流政策課・土木部公園緑地室）、全市町村企画担当者
- (2) 各機関・団体等との連携
- ・国出先機関(近畿地方整備局・近畿運輸局)・県内39市町村・県内の大学・博物館・美術館等に対して事業連携の働きかけを実施した。

- (3) ひと・もの・できごとを結ぶ「第3回奈良まちおこし結び会(むすびえ)」を開催
- ・市民団体や市町村等が行う「まちおこしイベント」や各地域の文化活動、物産等を一堂に、「イベント見本市」を実施した。

開催日：平成19年12月8日(土)・9日(日)

場 所：大神神社駐車場特設会場(桜井市)

参加者：12,000人

- (4) 「奈良2010年塾」の運営

- ・文化を生み出す意志と能力、実践的なスキルを備えた「文化制作ボランティア」を育成し、記念事業への主体的な参画とともに、県内各地の文化制作の担い手として地域活性化に寄与することを目的として「奈良2010年塾」の運営を行った。

① 講座の運営

開塾式：平成19年7月28日(土)

講座等：基礎・専門講座等(42コマ) 第4期生39名

卒塾イベント：「奈良まちおこし結び会・元気フォーラム」の開催

開催日：平成20年3月22日(土)

場 所：奈良県文化会館(奈良市)

内 容：「咲かそう結ぼう ひと・まち・こころ」をテーマにフォーラム等の実施

参加者：約10,000人

セカンドステージ(40コマ) 第3期生28名

② 塾の事業実施による情報発信 「東京特別講座『初風 書初め会』」

開催日：平成20年1月12日(土)

場 所：代官山iスタジオ(東京都渋谷区)

内 容：書初めコンテスト(審査員：KUMA氏、紫舟氏)及び奈良のうまいものPR

4. 関連広域事業(国際コンベンション等事業)

(1) 国際コンベンション事業

- ・世界遺産に見る文化交流の軌跡と世界遺産の広域的価値に視点を置き、各地の文化遺産が国を超えた文化交流を通してどのようにして実を結んだのか、世界遺産をもつ地域の人々が、世界遺産を活かすために、世界遺産をどのように捉え、守り、地域とどう関わって行くべきかをテーマに、国際フォーラム「世界遺産と文化交流」を開催。

(主催：「世界遺産と文化交流」組織委員会)

日 時：平成19年10月6日(土)

場 所：奈良県新公会堂(奈良市)

内 容：講演 「世界遺産の国境を越えた広域的価値と今後の活かし方」

タマシュ・フェジェルディ氏(ICOMOS副会長)

「正倉院宝物にみるシルクロード交易」

内藤 栄氏(奈良国立博物館工芸考古室長)

「世界遺産地域の官民協働」

西村幸夫(東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻教授)

「世界遺産の学習型観光ー遺産の活用と保全を考える新観光学へ向けてー」

鎌田道隆(奈良大学学長)

総括 「世界遺産と文化交流ーきょう・あすー」

水野正好((財)大阪府文化財センター理事長・奈良大学名誉教授)

参加者：約500名

- ・「世界宗教者平和会議40周年記念式典」等、各種コンベンションの誘致に向けた取組みを進めた。

(2) 関西各地、古京ゆかりの地との連携

- ・全国での事業連携を図るため、全国の平城京ゆかりの市町村（国分寺サミット in 佐渡、福岡県太宰府市、長崎県五島市、京都府木津川市等）等へ事業連携の働きかけを行った。
- ・関西広域機構（KU）の協力の下、「源氏物語千年紀」「姫路菓子博」「水都2009」など今後関西で展開される大規模なイベント等との連携に向けて働きかけを行った。

5. 事前展開事業(広報事業等)

(1) VI（ビジュアル・アイデンティティ）戦略の展開

- ・マスコットキャラクターの選定及び愛称募集

愛称募集：・募集期間 平成20年2月12日（火）～同年3月12日（水）

・応募数 14,539件

・選定 選定委員会の開催

日 時：平成20年3月27日（木）

場 所：東京都内

(2) 広報宣伝事業

- ・「平城遷都1300年記念シンポジウム」を開催

平城遷都1300年記念事業を契機にしていかに奈良を飛躍させるか、国営公園化により往時の姿がより一層再現されようとしている平城宮跡を、今後どのように活用し、未来の世代に引き継いでいくのかなどをテーマに、シンポジウムを開催

日 時：平成20年3月8日（土）

場 所：奈良県新公会堂・能楽ホール（奈良市）

内 容：・基調講演 「古代と未来をつなぐ都市文化」

講 師：松岡 正剛氏（編集工学研究所所長）

・パネルディスカッション 「天平の夢、未来へ」

小滝ちひろ氏（朝日新聞社編集委員）（＝コーディネーター）

松岡 正剛氏（編集工学研究所所長）

荒井 正吾氏（平城遷都1300年記念事業協会副会長、奈良県知事）

藤原 昭氏（平城遷都1300年記念事業協会副会長、奈良市長）

参加者：約500名

- ・「平城京フォーラム」を開催

平城遷都1300年記念事業のプレイベントとして、わが国初の本格的な国際首都である平城京と、日本文化の礎が築かれたその時代をテーマにフォーラムを開催

① 奈良会場

日 時：平成20年1月26日（土）

場 所：いかるがホール（斑鳩町）

テーマ：平城京—大都城が出現するまで—

内 容：・基調講演 「太子の理想社会」

講 師：大野玄妙師（法隆寺管長）

・パネルディスカッション 「飛鳥から平城への道」

武智 功氏（奈良新聞社論説委員）（コーディネーター）

大野玄妙師（法隆寺管長）

西山 厚氏（奈良国立博物館教育室長）

上野 誠氏（奈良大学教授）

参加者：約700名

② 大阪会場

日 時：平成20年2月16日(土)

場 所：松下IMPホール(大阪府中央区)

テーマ：平城京－大仏建立とアジアの交易－

内 容：・基調講演 「シルクロード－大陸から伝わったもの」

講 師：浜村淳氏(パーソナリティ)

・鼎 談 「盧舎那仏－大仏開眼とその時代」

堀井良殷氏(大阪21世紀協会理事長)(コーディネーター)

河野良文師(大安寺貫主)

浜村 淳氏(パーソナリティ)

参加者：約750名

③ 東京会場

日 時：平成20年3月15日(土)

場 所：東京国際フォーラム(東京都千代田区)

テーマ：平城京－南都仏教のメッセージ－

内 容：・鼎談(第1部)「聖武天皇が伝えたもの」

森本公誠師(東大寺長老)

谷村新司氏(音楽家)

千田 稔氏(奈良県立図書情報館館長)(=コーディネーター)

・鼎談(第2部)「玄奘三蔵が伝えたもの」

安田暎胤師(薬師寺管主)

滝田 栄氏(俳優)

千田 稔氏(奈良県立図書情報館館長)(=コーディネーター)

参加者：約1,100名

・平城遷都1300年記念事業「サモス・巡礼の精神」ルイス・オカニャ写真展

スペイン・ガリシア州のサンティアゴ・デ・コンポステーラと奈良県十津川村を含む紀伊山地の参詣道は、ともに世界遺産である信仰の道であり、また2010年には、スペイン・ガリシア州で2010年聖ヤコブ祭が、奈良県では平城遷都1300年祭の開催が予定されることから、信仰の道を通じた十津川村とサモス村の交流をサポートし、写真展の開催を支援

日 時：平成20年2月29日～3月9日

場 所：奈良県文化会館(奈良市)

・まんが読本「平城京を楽しもう」の配布・販売

内 容：小中学生向けに平城京とその時代をまんがでわかりやすく紹介

仕 様：A4版 フルカラー 16ページ

販売開始：平成19年6月18日から

配 布 等：県内小学校6年生、中学校1年生に配布のほか、県内書店で販売

・その他、各団体とタイアップし、講演、パネル展を行うなど記念事業のPRを実施した。

(3) 外客誘致等のための海外広報事業の展開

① ユネスコ世界遺産条約35周年記念・平城遷都1300年記念事業世界遺産トーチランコンサート パリ公演を開催

国土交通省が進める「ビジット・ジャパン・キャンペーン」ともタイアップし、併せて現地の旅行関係業者、マスコミ等を対象に説明会やPRを実施

日 時：平成19年5月31日（木）

会 場：サン・ジェルマン・デプレ教会（フランス・パリ）

主 催：平城遷都1300年記念事業協会、世界遺産トーチランコンサート組織委員会

後 援：ユネスコ

参加者：約650名

内 容：平城遷都1300年記念事業及び世界遺産ハーモニーのアピール

・松浦晃一郎 ユネスコ事務局長による祝辞

・奈良をはじめとする日本および平城遷都1300年記念事業の魅力PR

・コンサート（出演者）

城之内ミサ氏（指揮、ピアノ）

アラン・クズネツォフ氏（バイオリン、国立オペラ座管弦楽団首席コンサートマスター）

国立パリオペラ座管弦楽団特別編成アンサンブル、ユネスコ合唱団ほか

② 「日中国交正常化35周年記念 平城遷都1300年記念事業 日本・中国交流の翼2007

～日本で見る月 中国で見る月 とともに同じ丸い月～ 中秋の名月コンサート」の開催
財団法人日本余暇文化振興会とタイアップし、平城京のモデルになった中国西安にある西安城の特設ステージで中秋の名月コンサートを開催し、記念事業をPR

日 時：平成19年9月25日（火）

会 場：中国・西安城壁南門内特設ステージ

内 容：・オープニングで映像等による奈良及び記念事業の紹介

・タケカワユキヒデ氏、天理大学雅楽部、薬師寺僧侶（声明）等によるコンサート

観 客：日本からの観客約400名 中国からの観客約600名

③ 第53回百済文化祭（韓国忠清南道）への参加と交流

平成19年6月に韓国忠清南道と奈良県が締結した「協力意向書」に基づき、2010年に開催予定の「平城遷都1300年記念事業」と「大百済展」の連携に向け、忠清南道知事の招聘により、忠清南道を訪問し、連携に向けての意見交換を行うとともに、百済文化祭に参加

訪問日程：平成19年10月11日（木）～13日（土）

(4) マーケティング事業

・平城遷都1300年記念事業シンボルマークの使用基準の改定

企業や団体等に、多くの場面でシンボルマークを使っていたことにより、2010年に向け、気運を盛り上げていただくために使用基準を緩和した。

内 容：・従来は有償であった「商品」および「景品」への使用について、2008年7月末までを期限に無償とした。

・シンボルマークと組み合わせ可能な文言を追加。

・使用基準改定に関する説明会の実施

日 時：平成19年8月2日（木）

場 所：春日野荘（奈良市）

出席者：県内各種組合などの団体、製造、流通サービス業などの企業 約100名

(5) 観客促進事業

- ・「体験・体感」をキーワードに、奈良でゆっくり滞在していただける新しい修学旅行のスタイルを提案した修学旅行ガイドブック「710（なんと）楽しい奈良体感教室 あをによし奈良へ」を作成した。

発行部数：20,000部

配布予定：関西方面に修学旅行誘致可能な全国小・中・高等学校及び旅行会社等

6. 協会の運営等に関する事業

- ・第3回理事会の開催 [※再掲]
 - 日 時：平成19年7月27日（金）
 - 場 所：奈良県新公会堂（奈良市春日野町）
 - 主な内容：・平城遷都1300年記念事業実施方針（案）の承認
- ・平城宮跡第一次大極殿正殿復原現場の特別公開（第6回）（文化庁委託事業）
 - 日 時：平成19年11月2日（金）～4日（日）
 - 場 所：平城宮跡内 大極殿正殿復原工事現場（奈良市）
 - 内 容：復原工事現場の公開、記念講演会の開催等
 - 参加者：約17,000人
- ・協会事務局の運営